



園部共同作業所だより

園部共同作業所発行
京都府船井郡園部町上木崎

No 9

32

07716(2)3249

自主製衣口皿

どの作業所も作業といえ、大部分は下請け仕事そして、少し自主製品というところでしょう。当作業所もその程度のものでした。が、今年はその内容がひと味違ったものになってきました。

製品としては「ステンドグラス」「箸置」をしています。
「箸置」は、〃（お店の開店祝いの粗品、スポーツ等の参加賞、大会の記念品など、その他福祉バザーでもポチポチ売れているのです）、かたや「ステンドグラス」は〃（製作スピードも、売上もバツトしない、まるで開店休業のような状態でした。）そこで、ステンドグラス専門の木下先生に指導をお願いしました。そうすると、この春頃から、作品を展示会へ出せば注文の電話、見学者はできたての製品をすぐ買って帰るなど、なにやら様子が変わってきました。
「俺達の作品が売れていく」ステンドグラス班は作業意欲、やる気が俄然でてきて、製作スピードは大幅アップ、他の人も作業の手助けをし、大いにもりあがってきたのです。いよいよ木下先生の指導の威力がでてきたのです。大いに期待をしてくるところであります。



杉山俊夫

ステンドグラス

色々な種類の色ガラスを組立製作するステンドグラスは、自然の光や証明器具により様々な表情を見せてくれますので、たまたまなく神秘的で魅力的です。

ステンドグラスの用途は窓や壁面のパネルの様に大きなものから、最近では室内インテリアとして立体的な、テラリウム等小物まで広い範囲にわたり、テーブルや棚の片隅に一つ置くだけで部屋のムードは、ヒーんと華やいで素敵です。プレゼントとしてもたいへん喜ばれる品物です。昨年の今ごろだったでしょうか、園部作業所の所長さんより、ステンドグラスの取り組みを何とか続けたいとお話をうかがい、微力ながらお手伝いできればと、お引き受けした次第です。いくつかの試作品を製作すると作品に魅せられ興味を持った生徒さんが一人また一人と作業場に顔を出すようになり、テーブル巻きをしたり、ルーターかけを手伝ったり、自然に生徒さんの手に移行して行き、今では図柄を合わせてルーターかけを得意とするI君、ハンダ付け専門のA君、コパテープ巻きの上手なO君達と楽しく作品作りに励んでいます。唯、作業所の生徒さんが取り組む作品作りとなると、何分にもガラス、電気ゴテ、薬品等を取り扱うので安全面での配慮が必要です。技術はもとより、集中力、忍耐力、困難を克服する力、色彩感覚、繊細な心等が要求されます。しかし最近では私もびっくりする位皆さん熱心で素敵な作品がどんどん出来てきてい

ます。色ガラス、サイズの変化等色々工夫も加えられ、嬉しい限りです。まだ他にも二、三人の参加希望者もあると聞いています。ステンドグラスの取り組みが園部作業所の中に定着しつつあることを確信し大変喜ばしく思います。

木下悠紀子

レクレーション行事

三月一六日〜一七日

淡路島一泊旅行

四月八日

花見（福知山城）

五月二〇日

ソフトボール大会（かしのき寮グラウンドにて 対桜丘マッスル）

六月一七日

合同スポーツレク（マッスル）

（園部B G体育館）

（園部保健所合同）

七月二三日

海水浴（由良海岸）

寄贈品・寄付金

- | | |
|---------|-------------|
| 竹村（日吉町） | ジュース |
| 園部町民生委員 | |
| 山本様 | 菓子 |
| 明田ガラス店 | ステンドグラス用ガラス |
| 木下悠紀子 | 金一封 |
| 城島幹夫 | 〃 |
| 石田正 | 〃 |
| 涉よし | 〃 |
| 瀬尾博 | 〃 |
| 高屋 | 〃 |
| 垣村武生 | 〃 |
| 芦田稔 | 〃 |
| 和知町社協 | 〃 |



私たちの

ビーチバレーボール

園部共同作業所では月に一度、スポーツレクリエーションを行います。以前はスポーツの種類を決めるのに、ミーティングでずいぶん時間をとりましたが、最近ではビーチバレーが定着したようです。場所は木崎町隣保館の体育館を借りています。一年ほど前は皆それほど熱心ではなかったビーチバレーです。ところが近ごろは皆熱心にうちこむようになり、なぜ皆が一生命懸命するようになったのでしょうか。やはり少しずつではありますが、みんなが盲くなってきたせいではないか、私はそう考えています。最初はサーブだけで点が入って試合にならなかったのが多かったのですが、先月はラリーの応酬が続き「バレーボール」らしいものでした。今までは、一発で返すいっきプレーの連続でバレーらしくありませんでした。ところが長い間のレシーブ、トス、アタックで返そうという練習が実を結び、先月のプレーでO君はアタックの名手に変身、大活躍、O君のチームは楽々勝ってこれを証明しました。僕はと言え、背はクイックで点をとるのが好きでしたが、肩を痛めたため、最近はずとレシーブに専念しています。先ほどのO君にトスをあげて、彼が打って点を取ると非常に気持ちがいいのです。彼も喜びます。そんなとき飲むお茶が一段とおいしいのです。

I. S.

園部共同作業所一泊旅行

淡路島の旅

三月一六日、天候を気にしながら、一〇名は淡路島へ向かって、園部駅を旅立った。

JR九時二五分園部駅を出発、一〇時二十二分、京都駅に到着。そこから約一時間、元町まで列車の旅。元町駅から神戸港まで、みんな歩いたのであるが、さほど疲れなかった。神戸港、ここで昼食を取った。昼食をすまし、高速艇で洲本港へ向かった。私は船に乗ったのはこれで二度目だが、よく揺れた。

さて宿泊であるが、南淡路ロイヤルホテル、今まで（城崎、伊勢）とちがい建物も大きく各部屋も、とくにベッドが高級で、すばらしかった。又部屋から見える夜景もきれいであった。又一泊旅行があるなら、こういうホテルに泊まりたいと思った。

翌日、鳴門観潮船に乗って、渦潮を身に行った。心配していた天候も何とか持つてくれて船の上からのながめもよく、きれいであった。が……よく揺れたので正直行って少し恐かった。この渦潮も一ヶ所ではなく何ヶ所もあり、今も心の中に残っています。

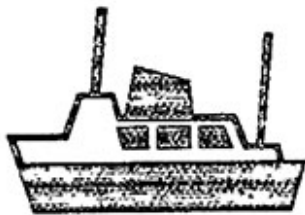
楽しかった船の旅も無事終わり、皆、帰路についた。京都駅十六時四分、全員元気に到着。楽しい旅行でしたので、よい思い出になりました。

A. T.

十友達紹介（Aさん）

Aさんが作業所に来た時、背がスラットしてカッコイイけれど、なんとなく元気がない若者に映りました。事実、彼はそのころ、他のメンバーとも、ほとんど喋らず、与えられた仕事を黙々とこなすだけの目立たぬ存在だったのです。長い「冬眠」をはさみながらもハイキングや花見をきっかけに変化がみられました。そしていまではどうでしょう。作業のステンド・グラス、その中でも特に細かい技術が要るハンダ付けを見事にこなしているのです。そのうえ仕上がりは完璧に近く皆を驚かせる腕前です。仕事の相棒Iさんとのイキもびったり、3年前かうそのような、いきいきした毎日です。生まれ持った真面目に、明るさが加わり、その評価はうなぎのぼり、Aさんは今や作業所に欠かせぬ存在となったのです。こうしてみると、Aさん再起のきっかけを作った、レクリエーションというものの大切さを痛感せすにはいられません。ひたむきなAさん、ガンバリすぎて息切れしないよう、休憩もとろーね、そちらの注意も怠らなければ、今後の活躍はいっそう楽しみになりますね。

山口雅典



編集後記
暑いあついと言いながら、海水浴（スイカ、イカ焼き食べた）へ行っ
た。原稿もやっとなら集まった。
やれやれごころうさま！

